おくりん 平成22年７月 No.133

議会だより

■発行 奥尻町議会 ■編集 広報編集特別委員会 ☎01397 2-3412 番 FAX01397 2-3929 番

スポーツシーズン真盛り

平成２２年第２回定例会 …… 各会計補正予算、条例改正　ほか

一　般　質　問 …… 青坂賢二議員 ・ 制野征男議員

平成２２年第２回臨時会 …… 専決処分、契約の締結、指定管理者の指定

平成２２年第３回臨時会 …… 会計補正予算

第2回定例町議会

一般質問

フェリーに接続する函バスの対応策の検討を

青坂　賢二　議員

質問　フェリーの大幅なダイヤ改正により函館行きバスの待ち時間が2時間近いものになっている。高齢者、身体障害者にとっては非常に苦痛なものであり、町長としても関係機関に対応を要請しているようだが、どのような現状になっていますか。

答弁　ダイヤ改正によって各種交通機関との接続に影響を来たしており、先を急ぐのに不便が生じていることは承知している。函館バス、町村会を通じて要請しているが、管内各町との接続、補助路線であることから、フェリーへの接続は見送っている状況にあります。しかし、町民利用の不便さを放置できないことから、状況を見極めながら対応策を検討していきたい。

町民の不便さ認識しており、状況みながら対応策検討

新村　卓実　町長

誤診とも取られる町民の不安解消に町長は積極的に対応を

制野　征男　議員

質問　離島における病院の役割は命の砦とも言えるもので、医師、スタッフはともに連携を密にし、町民に不信、不安を与えてはいけないものである。しかし、最近誤診とも取られる事例があり、原因の解明と防止策を講ず

るために町長は積極的に対応する責任があるのではないか。

との報告を受けており、当院の医師と他の病院の専門医の判断が違っていても、誤診であったかどうかの、担当医が認識しているかどうかによるものです。誤診に対する正式な苦情であれば院内に設置している苦情対策委員会で対応や、防止策を協議し、責任者である院長が誠意をもって対応することになっている。病院の管理職会議には院長からの要請がなければ参加していない。

誤診かどうかの判断は医師の認識によるもの

新村　卓実　町長

答弁　病院からは誤診だとして、本人や家族から診断に対する問い合わせや苦情はない

奥尻島独自の観光振興策を具体化し、緊急事態に備えるべき

制野　征男　議員

質問　4月、5月の津波館の入館者数は1千69人の減となっており、今年の観光客の入り込み数の厳しさが予想される事態になっている。道南広域観光圏の2泊3日コースの計画、新幹線木古内駅停車を見込んだ活用協議会の設立がされており、奥尻島独自の施策と同時に進行させなければならない緊急事態との認識を持った手立てが必要であり、その手立てを問いたい。

近隣自治体の広域観光ルートや特産品の情報発信に全力

新村　卓実　町長

答弁　新幹線木古内駅停車を見込み、近隣自治体が広域観光ルートと特産品の情報発信を協議会の方向性として確認している。乗用車の割引は奥尻、せたな、江差の3町で実施する「奥尻航路活性化プロジェクト」で事業を進める。予算は1千7百万円で、乗用車には1千2百万円で2航路を活用した復路航送料金の助成策で、江差、せたなを出入り口として奥尻島を観光で来島するのを助成対象などとするものです。7月1日から9月30日までの平日、土、日の92日間で一日、8～10台の9百台の乗り入れを試算している。

フェリーダイヤについては、今年の観光客の入り込み数は過去10年でもっとも悪い状態であり、フェリーダイヤの改正が影響していることは否めないと認識している。観光協会でも観光振興に適したダイヤの検討を早期に進めると聞いているので、町として町民の利便性、漁業の流通、観光振興と言う3つの視点からの分析を進めて早期に対応を検討していきたい。

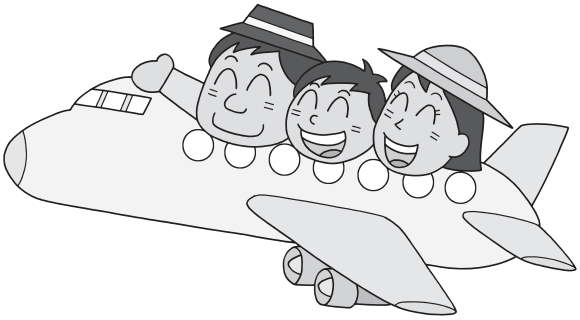
熊石航路については熊石航路を主題としないものの、経済交流会の再開を足がかりとして開催に向けた事務レベルの打ち合わせをするように指示している。

大規模な花畑については国営草地の起債償還が平成24年度で完了となるので、今後、手続きなどの準備や畜産農家や関係機関と検討していきたい。

ＨＡＣの運行について、知事の離島路線維持につい

て、町の出資が条件なのか、無条件なのか不明ですが、町としては、町民にとっての重要な生活路線になっていることから、維持のために今後も努力していきます。

搭乗率向上に向けて住民利用の取り組みと同時に、交流人口、観光客の利用拡大を図っていきたい。



航空機運行の展望は

制野　征男　議員

質問　日本航空は経営が行き詰まり、北海道と共同で出資しているＨＡＣの経営から撤退する意向を明らかにしているものの、知事は離島路線を守ることを報道機関で発言しており、それについては町の出資もありえるのか。

また、町はＨＡＣの路線を維持するために、搭乗率向上のための策を検討しているのか伺う。

航空路線維持のために努力する

新村　卓実　町長

答弁　現在のところ、町の出資も条件となるのかは不明だが、意向としては単に交通アクセスの利便性のみでなく、町民にとっての重要な生活路線維持のために、今後も努力していく。

搭乗率向上については、住民利用による取り組みはもちろん、今後は観光客等の一層の拡大によって搭乗率の向上を図りたい。

要介護認定について町の認識は

制野　征男　議員

質問　介護保険制度の介護認定の方法が変わり、影響について「介護度を低くするために改定された」「今までの認定より軽くなり、サービスの制限を余儀なくされ、在宅で安心して過ごせる状況ではなくなるのではないか」と不安視されていた。

道内でも要介護度が軽度に認定されているのが2割近くになっているとの報道もあり、奥尻町の場合の実態を報告されたい。

また、軽度に認定される要因は政府が介護給付費を抑制するために判断基準を変えたとの指摘がされているが、町の認識を問いたい。

給付費抑制という認識は無い

新村　卓実　町長

答弁　奥尻町においては要介護度が軽度に認定されているというよりは、重度に認定

されているケースが多く、認定調査員研修会でも要介護認定調査での選択のほかに、被保険者の能力の有無、介助の方法、症状の有無や回数それに係わる介護の手間などは事細かに記載されるよう周知徹底されている。新しい要介護認定調査で介護度が低くなるようなことはないと思っているので、政府が介護給付費を抑制するために判断基準を変えたとの認識は持っていない。

子どもの医療費の無料化を

制野　征男　議員

質問　子どもの医療費の無料化は国政や地方でも草の根運動で一環して掲げてきた要求であり、現在、所得制限や対象年齢など様々だが、全都道府県で自治体独自の助成制度が実施されるようになっており、市町村段階では15歳、18歳まで無料にしているところもある。

依然として自治体に格差はあるが、奥尻町でも小学生までの通院を含めた医療費の無料化を実施する考えはないのか。

さらに、政府に対して小学生までの通院・入院を含め無料化の制度を創設するよう要請する意思があるのか伺う。

町単独での実施は考えていない

新村　卓実　町長

答弁　医療費の無料は、少子化対策として効果があると思うが、現在、乳幼児等医療費補助事業を実施しているので、町単独での医療費無料の実施は考えていない。

また、国では少子化対策として子ども手当ての支給を実施しているが、医療費の無料化も少子化対策として効果があると思うので、町村会を通じて要望していきたい。

平成22年第2回定例町議会は、6月15日に招集され、平成22年度各会計補正予算、条例等を審議し、いずれも可決して、15日に閉会しました。

報告

▽平成21年度奥尻町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について……報　告

地域情報通信基盤整備事業として2億1千万1千円、全国瞬時警報システム整備事業として、3百2万円、地域活性化・きめ細かな事業（総務費）として9千百32万1千円、子ども手当システム構築事業として2百94万円、地域活性化・きめ細かな事業（衛生費）として2百76万5千円、奥尻港湾直轄事業として1千百33万4千円、合計3億2千百38万1千円を翌年度繰越額としたことから、地方自治法施行令の規定により報告したものです。

▽平成21年度奥尻町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について……報　告

青苗地区簡易水道施設改修事業として2百76万5千円を翌年度繰越額としたことから、地方自治法施行令の規定により報告したものです。

補正予算

□平成22年度一般会計補正予算（第2号）…原案可決

歳入歳出予算に9千2百78万4千円を追加し、予算総額を、36億1千2百95万6千円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕

道支出金　2千2百41万円
財産収入　5千4百75万7千円
繰入金　1千3百76万円
諸収入　1百85万7千円

〔歳出〕

総務費　2百7万2千円
衛生費　60万円
労働費　2百32万8千円
農林水産業費　△11万3千円
商工費　2千5百56万8千円
教育費　1百76万円
諸支出金　6千56万9千円

□平成22年度奥尻町あわび種苗育成センター事業特別会計補正予算（第1号）
……原案可決

修繕料70万9千円などを追加し、予算総額を5千3百24万3千円としました。

□平成22年度奥尻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）…原案可決

償還金利子及び割引料14万4千円などを追加し、予算総額を4億9千4百87万9千円としました。

□平成22年度奥尻町国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第1号）…原案可決

資本的収入に企業債1百60万円などを追加し、合計1千2百52万2千円に、資本的支出に資産購入費37万3千円を追加し、合計1千8百84万6千円としました。

条例

○奥尻町過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例
……原案可決

過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例が失効したため、過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、新たに本条例が制定されました。

○リトーレパークゴルフ場設置及び管理等に関する条例
……原案可決

北海道総合振興局及び北海道振興局の設置に関する条例の施行に伴い、規約の一部を変更したものです。

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

○職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例
……原案可決

○奥尻町国民健康保険条例の一部を改正する条例
……原案可決

○奥尻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
……原案可決

○奥尻町国民保護協議会条例の一部を改正する条例
……原案可決

その他

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
……原案可決

北海道総合振興局及び北海道振興局の設置に関する条例の施行に伴い、規約の一部を変更したものです。

○北海道市町村総合事務組合規約の変更について
……原案可決

北海道総合振興局及び北海道振興局の設置に関する条例の施行に伴い、規約の一部を変更したものです。

○北海道市町村備荒資金組合規約の変更について
……原案可決

北海道総合振興局及び北海道振興局の設置に関する条例の施行に伴い、規約の一部を変更したものです。

○北海道市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について……原案可決

北海道総合振興局及び北海道振興局の設置に関する条例の施行に伴い、規約の一部を変更したものです。

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について……原案可決

総合整備計画の事業変更に伴い、当該計画を変更しました。

意見書を提出しました

次の意見書を関係機関に提出しました。

◎北海道農業の発展に必要な生産基盤整備等に関する意見書

◎最低賃金法の抜本的改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書

◎ワクチン接種に関する意見書

町議会議員定数 8人に削減

◎奥尻町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例……原案可決

人口の減少、社会情勢の趨勢を鑑み、現定数10人から2人減らし、8人とするものです。（次の一般選挙から）

同条例は齋藤議員が提案し、賛成7、反対2で可決されたもので、制野議員が反対討論を行ないました。

議会運営委員会

4月15日、5月24日及び6月11日に開会された同委員会の概要についてお知らせします。

（4月15日）

4月15日に開会する第2回臨時会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については1日とし、当日は午後2時に開会することなどを決定しました。

（5月24日）

5月24日に開会される第3回臨時会の議事運営について審議しました。

会期は1日とし、当日は午後2時に開会することなどを決定しました。

（6月11日）

6月15日から開会する6月定例町議会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期については1日間とし、各団体から要請されていた意見書については3意見書について各委員による提案とすることなどを決めました。

臨時議会

第2回（4月15日）

専決処分

▽平成21年度一般会計補正予算（第12号）……承認

地方譲与税、地方交付税等確定に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、6千3百38万8千円を追加し、予算総額を、39億4千8百80万3千円としました。

▽平成21年度奥尻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）……承認

財政調整交付金等確定に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、6百52万2千円を追加し、予算総額を、5億2千8百80万1千円としました。

▽平成21年度奥尻町簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）……承認

青苗地区簡易水道施設改修事業繰越に係る予算措置で、地方自治法の規定により、翌年度に繰り越して使用するとしました。

▽平成21年度奥尻町漁業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）……承認

下水道使用料調停額確定等に伴う予算措置で、歳入歳出それぞれ、13万4千円を減額し、予算総額を、2千8百50万2千円としました。

▽奥尻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例……承認

地方税法施行令及び国税収納金整理資金に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布に伴い、関係法令に準拠し本条例の一部を改正しました。

▽奥尻町税条例の一部を改正する条例……承　認

地方税法の一部を改正する法律が平成22年4月1日より施行されたことに伴い、関係法令に準拠し本条例の一部を改正しました。

その他

○奥尻町地域情報通信基盤整備事業業務委託契約の締結について……原案可決

工事の予定価格が5千万円以上であることから、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」に基づき、議決を行ないました。

【契約の方法】
随意契約　公募型プロポーザル方式
【契約の金額】
2億1千万円
【契約業者】
インフラネット・東日本特定建設工事共同企業体
代表者　エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社

○奥尻町公の施設に係る指定管理者の指定について……原案可決

神威脇温泉保養所を管理運営する指定管理者の指定にあたり、地方自治法の規定に基づき、議決を行ないました。

【指定管理者の名称】
有限会社　伸栄機械産業
代表取締役　佐藤　洋悦
【指定の期間】
平成22年4月16日から平成25年3月31日まで

第3回（5月24日）

補正予算

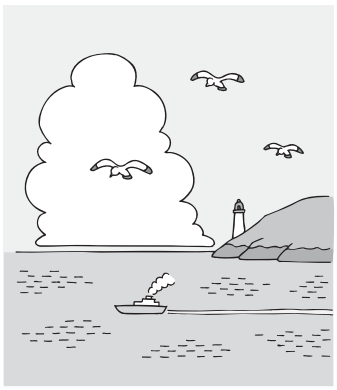
▽平成22年度一般会計補正予算（第1号）……原案可決

歳入歳出予算に2億6千6百16万6千円を追加し、予算総額を、35億2千17万2千円としました。

補正の主な内容は、次のとおりです。

〔歳入〕
国庫支出金　1億7千7百17万7千円
繰入金　8百38万9千円
町　債　8千60万円

〔歳出〕
商工費　2億6千6百16万6千円



全員協議会

4月15日、議員定数等を検討するため、全員協議会が議長により招集され、各議員より今後の議員定数等の方向性等について議論しました。

産業建設常任委員会

5月18日に、パークゴルフ場環境整備事業工事進捗状況について、現地を視察し、担当者より説明がありました。

行政視察後、議会小会議室において意見交換会を開催し、クラブハウスの設置など、今後の工事予定などについて、町より説明がなされました。

総務文教常任委員会

5月28日開会された同委員会の概要についてお知らせします。

開会の冒頭に委員から、委員長辞任の有無についてを求める発言があり、このことについて委員長は「辞任しない」との発言がありました。それに対して委員より「審議には参加するが委員長としては認めていない。」との発言がありました。

【住民課関係】

平成22年5月25日現在の平成21年度町税等収納状況、滞納整理機構について、収納嘱託員について、東風泊保育所の23年度閉所について報告がされました。

【国保病院関係】

国保病院の経営改善について報告がされました。

【教育委員会関係】

奥尻町津波館「映像システム」の現状について、第3回全国離島交流中学校野球大会について報告がされました。

町村議会議長会定期総会

6月3日（木）午後1時30分から、ポールスター札幌2階ホールにおいて、北海道町村議会議長会（会長　川股　博）の定期総会が開催され、当議会からは麓議長が出席しました。

また、このたび北海道町村議会議長会から自治功労者表彰となったのは、当議会では15年以上の議員在職に該当する、千田議員と紀伊国議員の二人でした。

また、6月定例議会の開会前に、代表して千田議員に麓議長から表彰状が伝達されました。

議員研修会

7月1日に札幌市で北海道町村議会議員研修会が開かれ、奥尻町議会議員8名が参加し、キャノングローバル戦略研究所主幹　東京財団・経済産業研究所上席研究員の山下一仁氏の『農業ビッグバンの経済学―グローバル化と人口減少時代の農政改革―』、白鷗大学の福岡政行氏の『政局展望』と題し講演が行われました。

▼山下氏は、日本の農業保護の構造と原因などについて講演し、食料自給率の問題などについて話されました。

▼福岡氏は、目前に迫った参議院選挙後の政局展望について話されました。

両氏の講演に、参加者は真剣に耳を傾け、今後の議員活動の参考となりました。

議会のうごき

4 月

15日　議会運営委員会開会
15日　第２回町議会臨時会開会
15日　全員協議会
20～21日　檜山支庁管内町村議会議長会定期総会（上ノ国町）議長出席

5 月

15～18日　札幌奥尻会第３６回総会（札幌市）議長及び議員１名出席並びにハートランドフェリー訪問（札幌市）議長出席
18日　産業建設常任委員会開会
21～22日　平成２２年度檜山総合開発期成会総会及び国道２２７号早期改良整備促進期成会総会（江差町）議長出席
24日　議会運営委員会開会
24日　第３回町議会臨時会開会
28日　総務文教常任委員会開会

6 月

2～4日　北海道離島振興町村議会議長会決算監査並びに協議会・北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）議長出席
11日　議会運営委員会開会
15日　第２回町議会定例会開会
15日　全員協議会開会
24日　広報編集特別委員会
27～30日　第５９回檜山管内消防総合訓練大会（上ノ国町）及び檜山総合開発期成会要望　（函館市・札幌市）議長出席
30～ 2日　北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）議長及び議員７名出席

編集を終えて

今回の表紙の写真に選びましたが、ちょうど中体連の檜山大会が終わり、自分も卓球競技を見てきましたし、他の種目の練習風景も目にしました。生徒たち個人の目標や緊張を感じ、そしてドラマがあり、最終的に勝っても負けても感動させられたのは子供たちの涙でした。

練習試合や違う大会に離島故なかなか参加できないというハンディもある中、自分の力を出し切った人、出せなかった人もいると思いますが、長い人生においてのひとつの出来事として、これからも頑張って競技を続けてほしいと願っています。

偶然にも「編集を終えて」を書いている今日、ちょうど参議院議員選挙でした。

賛否両論のなか、国は「子ども手当」「高校授業料無償化」等の政策を行っていますが、まずは出来ることから、我々地域の大人も子供たちを暖かい目で見守っていきたいと思っています。

広報編集特別委員会（S）